



発行：松戸市 編集：総務企画本部広報課
〒271-8588 松戸市根本387-5
TEL.047-366-1111 FAX.047-363-3200
e-mail mcity@intership.ne.jp
URL http://www.intership.ne.jp/matsudo/

迎春



小金南中学校で行われた三世代交流会

市制60周年

昭和18年に松戸市が誕生し、今年で市制施行60周年を迎えます



市議会議長
中川 英孝

新年、明けましておめでとうございます。平成15年の年頭に当たり、松戸市議会を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は日本人のノーベル賞受賞者が一度に二人誕生し、わが国の独創的な研究や、基礎科学の力が見直される画期的な年となりました。二十一世紀の幕開けから先行きの不透明感が続いておりますが、二人の功績は、明日の日本に新たな光を与えていただいたようであります。

さて、本年、松戸市は市制施行六十周年を迎えます。半世紀以上を歩んだ本市が、中核都市として発展しましたことは、誠に喜びに堪えない次第でございます。これを機に、これまでの成果を受け継ぎ、より豊かな市民生活を実現するため、さらに努力を続けて参る所存であります。

その新たな第一歩として、「松戸市総合計画第二次実施計画」がスタートする年でもあります。昨年の選挙において、皆様方の信託をいただきました私ども市議会議員は、決意を新たに、社会環境の変化に対応した施策を展開すべく、より一層の努力を傾ける所存であります。

終わりに、皆様のご多幸とご清栄を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



市長
川井 敏久

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、今年、市制施行六十周年を迎えます。この記念の年に、明るく豊かな市民生活の実現を目指し策定された松戸市総合計画の第二次実施計画がスタートいたします。厳しい財政状況ではございますが、この計画により、活力と魅力あるまちづくりを着実に実施して参りたいと存じます。

そして、昨今のさまざまな社会経済構造の変化の中「市民と行政が共に考え、共に汗を流す」新しい時代のパートナーシップの構築を目指し、ボランティアやNPOなど市民の皆様の公益的な活動を推進する拠点として、1月20日には「まつど市民活動サポートセンター」を開設するなど、市民参加による協働のまちづくりに取り組んでいるところでございます。

また、だれもがいきいきと安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて「松戸市セーフティー・ネットワーク」を整備することも、市民安全パトロール車による防犯パトロールを引き続き実施して参ります。私は、スマイル&ハートの精神をもって、全力で市政運営にまい進して参りますので、皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、明るく幸多き年となりますことを心から祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

年頭のごあいさつ

新春座談会 食と健康

～おいしく食べて健康に～



高橋貴美代さん手作りのおせち料理を囲んで

新しい年を迎えました。今春の座談会は食と健康をテーマに、生産、調理、消費の立場から3人の方々をお迎えし、食事の取り方や食品の安全などについて伺いました。



市長 川井敏久

市長 皆さん、明けましておめでとございます。松戸市は今年市制施行六十周年を迎えます。人という還暦を数えるわけですが、四十七万松戸市民の平均年齢は三九・七歳と働き盛りといったところです。さて、年頭にあたり、私は子どもからお年寄りまで、すべての市民の皆さんがすこやかな市民生活を営んでいただきたいと祈念をいたしました。それには心身の健康が大切で、その基本の一つは「食」ではないかと考えます。そこで、「食」にかかわりをお持ちの皆さんにお集まりいただき、「食と健康」おいしく食べて健康に」と題して、語り合いたいと思えます。また、本日は高橋貴美代さんに、ご無理をお願いして、おせち料理をお作りいただきました。ありがとうございます。

市長 長江さんは、聖徳大学短期大学部文学科の助教授でいらっしゃいます。昨秋、大学で担当された「食の松戸物語」と題したユニークな講座が好評だったと伺いました。この講座の内容も含めて、長江さんが「食」にかかわりをお持ちになったきっかけについて、お話しください。

食にかかわるきっかけ

市長 松戸を誇るといことがなかなかないので、逆に松戸ってすばらしい街ではないかと再発見したいと思ったのです。それも食べ物で再発見ができないだろうか、食材だけでなく文化という切り口でできないだろうか、と。

市長 皆さん、明けましておめでとございます。松戸市は今年市制施行六十周年を迎えます。人という還暦を数えるわけですが、四十七万松戸市民の平均年齢は三九・七歳と働き盛りといったところです。さて、年頭にあたり、私は子どもからお年寄りまで、すべての市民の皆さんがすこやかな市民生活を営んでいただきたいと祈念をいたしました。それには心身の健康が大切で、その基本の一つは「食」ではないかと考えます。そこで、「食」にかかわりをお持ちの皆さんにお集まりいただき、「食と健康」おいしく食べて健康に」と題して、語り合いたいと思えます。また、本日は高橋貴美代さんに、ご無理をお願いして、おせち料理をお作りいただきました。ありがとうございます。

市長 松戸を誇るといことがなかなかないので、逆に松戸ってすばらしい街ではないかと再発見したいと思ったのです。それも食べ物で再発見ができないだろうか、食材だけでなく文化という切り口でできないだろうか、と。

市長 松戸を誇るといことがなかなかないので、逆に松戸ってすばらしい街ではないかと再発見したいと思ったのです。それも食べ物で再発見ができないだろうか、食材だけでなく文化という切り口でできないだろうか、と。

市長 松戸を誇るといことがなかなかないので、逆に松戸ってすばらしい街ではないかと再発見したいと思ったのです。それも食べ物で再発見ができないだろうか、食材だけでなく文化という切り口でできないだろうか、と。



長江曜子さん

- ・聖徳大学短期大学部文学科助教授
- ・明治大学商学部講師（非常勤）
- ・(株)加藤組 石匠あづま家代表取締役社長
- ・日本初のお墓プランナー
- ・聖徳大学オープンアカデミー(SOA) 特設講座「食の松戸物語」でコーディネーターを務める
- ・日暮在住

市長 松戸を誇るといことがなかなかないので、逆に松戸ってすばらしい街ではないかと再発見したいと思ったのです。それも食べ物で再発見ができないだろうか、食材だけでなく文化という切り口でできないだろうか、と。

市長 松戸を誇るといことがなかなかないので、逆に松戸ってすばらしい街ではないかと再発見したいと思ったのです。それも食べ物で再発見ができないだろうか、食材だけでなく文化という切り口でできないだろうか、と。

市長 松戸を誇るといことがなかなかないので、逆に松戸ってすばらしい街ではないかと再発見したいと思ったのです。それも食べ物で再発見ができないだろうか、食材だけでなく文化という切り口でできないだろうか、と。

市長 松戸を誇るといことがなかなかないので、逆に松戸ってすばらしい街ではないかと再発見したいと思ったのです。それも食べ物で再発見ができないだろうか、食材だけでなく文化という切り口でできないだろうか、と。



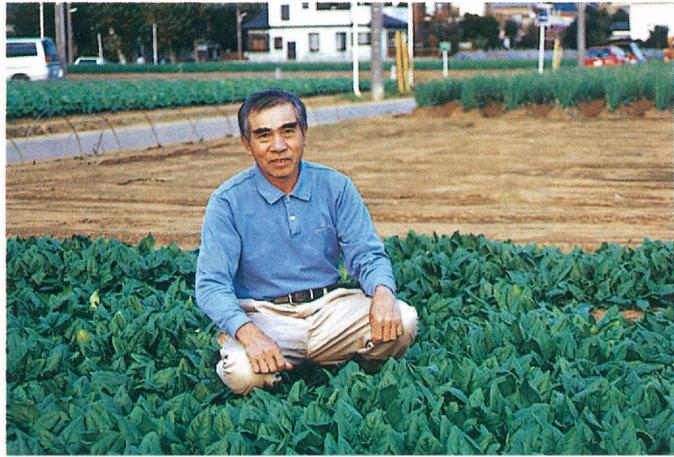
食の松戸物語パート3「小金編」—あじさいネギを味わう—より

市長 松戸を誇るといことがなかなかないので、逆に松戸ってすばらしい街ではないかと再発見したいと思ったのです。それも食べ物で再発見ができないだろうか、食材だけでなく文化という切り口でできないだろうか、と。

市長 松戸を誇るといことがなかなかないので、逆に松戸ってすばらしい街ではないかと再発見したいと思ったのです。それも食べ物で再発見ができないだろうか、食材だけでなく文化という切り口でできないだろうか、と。

市長 松戸を誇るといことがなかなかないので、逆に松戸ってすばらしい街ではないかと再発見したいと思ったのです。それも食べ物で再発見ができないだろうか、食材だけでなく文化という切り口でできないだろうか、と。

市長 松戸を誇るといことがなかなかないので、逆に松戸ってすばらしい街ではないかと再発見したいと思ったのです。それも食べ物で再発見ができないだろうか、食材だけでなく文化という切り口でできないだろうか、と。



高橋さん自慢の無農薬栽培のホウレン草畑

高橋さんが「社会的な健康」といっているのは、環境や水などは地域

の健康でもありません。人との関係性の健康でもありません。すべてまとまって融合してないければ、健康ではないと思うんです。

市長 高橋貴美代さんはいかがでしょうか。「体のためには、むしろ粗食がいい」という話を聞きますが、

市長 高橋貴美代さんはまさに健康のために安全な野菜を作っています。安全な野菜を作ると下さっているわけですが、消費者はどのような点に注意して、食材を求めたらよいとお考えでしょうか。



高橋已一郎さん

- ・昭和33年に就農
- ・平成4年から無農薬栽培を開始
- ・平成5年、松戸市無農薬栽培研究会を立ち上げ、初代会長に就任
- ・平成10年、全国農業協同組合中央会より「第28回日本農業賞賞状」で大賞を受賞（無農薬野菜）
- ・二十世紀が丘山町在住

分の子どもにも朝食は取らせてきました。市長 高橋貴美代さんはいかがでしょうか。「体のためには、むしろ粗食がいい」という話を聞きますが、

また、教室の生徒さんの食生活で、気づかれたことやアドバースなどがありませんか。高橋(貴) 私どもの生徒さんは年齢層が幅広く、大学生から上は七十代の方までお見えになっ

食は理想的なんです。一日三十品目という目標値があります。和食なら食品の品数は多く取れます。市長 おいしく食べる秘けつというものがあられるでしょうか。

高橋(貴) 秘けつというわけではないのですが「料理は愛」だと思います。家庭の料理で精神的に満たされることは、食のバランスとともに、とても大事なことです。



高橋貴美代料理教室の授業風景



高橋貴美代さん

- ・料理研究家・高橋料理教室主宰
- ・一世を風靡(ふうび)した喜劇俳優・デン助こと大宮敏光さんの次女
- ・市教育委員会等主催のセミナー講師
- ・読売文化センター講師
- ・朝日まっつど新聞「高橋先生の旬の料理」連載中
- ・岩瀬在住

市長 高橋貴美代さんはまさに健康のために安全な野菜を作っています。安全な野菜を作ると下さっているわけですが、消費者はどのような点に注意して、食材を求めたらよいとお考えでしょうか。

市の木 はな 鳥 とり

2003 CALENDAR



しい



つぼめ

7

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

8

1

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



さくら

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

2

9

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



のぎく

3

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29



しらすぎ

10

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



ユーカリ

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

4



つつじ

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

11

5

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



あじさい

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

6



なし



ふくろう

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

12

市の木…しい（里の木）、なし（郷土の木）、ユーカリ（国際交流の木）、さくら（街の木）
 市の花…のぎく（里の花）、あじさい（庭の花）、つつじ（街の花）
 市の鳥…つぼめ（街の鳥）写真提供=木村稔氏、ふくろう（森の鳥）写真提供=伊藤誠氏、しらすぎ（水辺の鳥）
 市では平成14年4月に、新たに「市の木」「市の花」「市の鳥」を制定しました。

松戸市制施行 60周年記念

まつど市民活動サポートセンターがオープン

松戸市パートナーシップ検討委員会の「機能、管理・運営に関する中間提言」を反映した施設に

市民と行政のパートナーシップによる活動の拠点として、「まつど市民活動サポートセンター」が1月20日にオープンします（旧健康増進センターの跡施設を利用）。

この施設の機能、管理・運営について検討している松戸市パートナーシップ検討委員会（木下勇委員長・千葉大学園芸学部助教授）が、昨年11月、市長に中間提言書を提出しました。今回の提言書は、オープンする施設の理念や目的に基づいた将来像とオープン当初の施設のあり方に分かれた内容となっており、市民活動サポートセンターは、こうした提言内容を反映させた施設です。

この中間提言の概要と、センター施設についてお知らせします。また、提言の全文については、地域振興課またはホームページでご覧いただけます。なお、検討委員会では本年10月の最終提言に向けて、さらに検討を重ねていきます。皆さんからのご意見等をお寄せください。

〒270-0115 松戸市中央1-3-1 地域振興課ホールディングス366・3015

1/20(月)オープン



今後、市民活動の拠点として期待されるサポートセンター

松戸市パートナーシップ検討委員会

市では21世紀の豊かな市民生活を実現するためには、「市民と行政が共に考え、共に汗を流す」新しい時代のパートナーシップの構築に取り組むことが必要であると考えます。そこで、そのための制度や仕組みを検討する「松戸市パートナーシップ検討委員会」を公募による59人の委員（市民）を主体とし、昨年6月から発足させています。

施設名称

名称 「まつど市民活動サポートセンター」

愛称

市民に親しみを覚えてもらえるように一般公募し、松戸市パートナーシップ検討委員会で決定します。

施設の設置「理念・目的」

理念 ◆「市民による市民のための豊かなまちづくり・未来づくり」
それぞれの自覚と責任の下に互いの活動を助け合うみんなの広場

目的 ◆市民が主体となって、市民活動を支援する機会・交流・情報・人材育成・社会的討議



市長に提言書を渡す木下委員長（昨年11月19日）

施設の機能と活動（業務・サービス）

情報機能と情報活動

市民活動に関するいろいろな情報を収集し、その情報をデータベース化し、利用者に提供する活動、およびセンターとしてそれらの情報をコーディネートして自発的に発信していく活動を行います。

市民活動を支えるインフラの提供
各種市民活動が求める活動と

作業の場、作業機材を提供します。また、行政の他部門、他グループ間の諸設備、機器等に関する情報の提供も行います。

また、これらの人材育成のために、セミナー、講座、実習、他の施設への派遣等を行います。市民、企業、学校、行政とのパートナーシップや協働を実現するための社会的討議を行う拠点機能

施設（部屋）の配置

配置イメージ（七面参照）

施設の運営方法

基本的な考え方

①センター運営の基本事項は、運営委員会を設置して決定します。
②運営委員会の決定に基づいてセンター事務局を設置し、日常の運営を行います。

運営主体

検討委員会の希望者により、ワーキンググループを結成し、スタッフとして実際の運営に参画します。

施設の管理

使用料金
①15年1月スタート時は条例の制定が必要ない範囲での実費を徴収し、施設の使用料については、利用者の促進を兼ねて無料とします。

開館日
年末年始以外とします（オープン時は平日のみ開館）。

開館時間
開館時間は午前9時から午後9時または10時とし、将来的には二十四時間の開館も視野に入れ検討します（オープン時は午後5時閉館）。

施設の利用者
松戸市に在住・在勤・在学して市民活動を行うか、または松戸市に拠点を置いて市民活動を行う、市民および市民団体です。

中間提言後の課題等
◆センターの機能の活用と将来構想
◆センター機能を発揮するための行政内部および他団体との連携
◆既存の施設（健康増進センター）を有効活用するための課題
◆センターの運営上の課題
◆イベント等の開催

皆さんのご意見等を お寄せください

文書・ファクス・Eメールで受け付けています。
提出先 〒271-8588 松戸市役所地域振興課ホールディングス 担当室 ☎ 366・3015 FAX 366・2447
partnership@matsudo-city.soujiko.jp

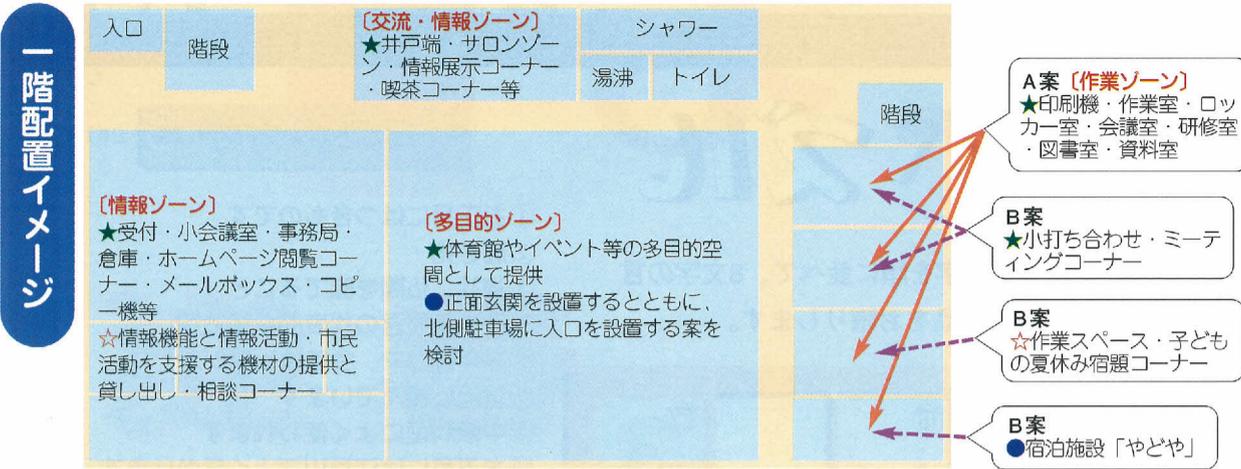
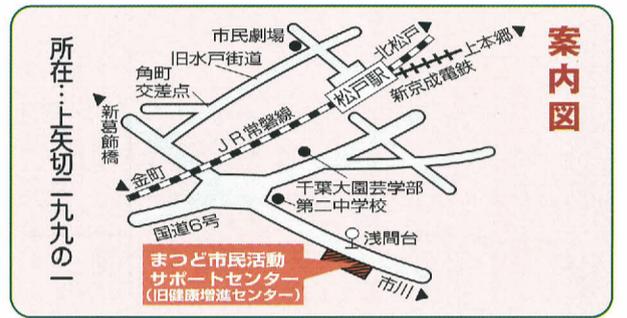


旧健康増進センターを有効活用

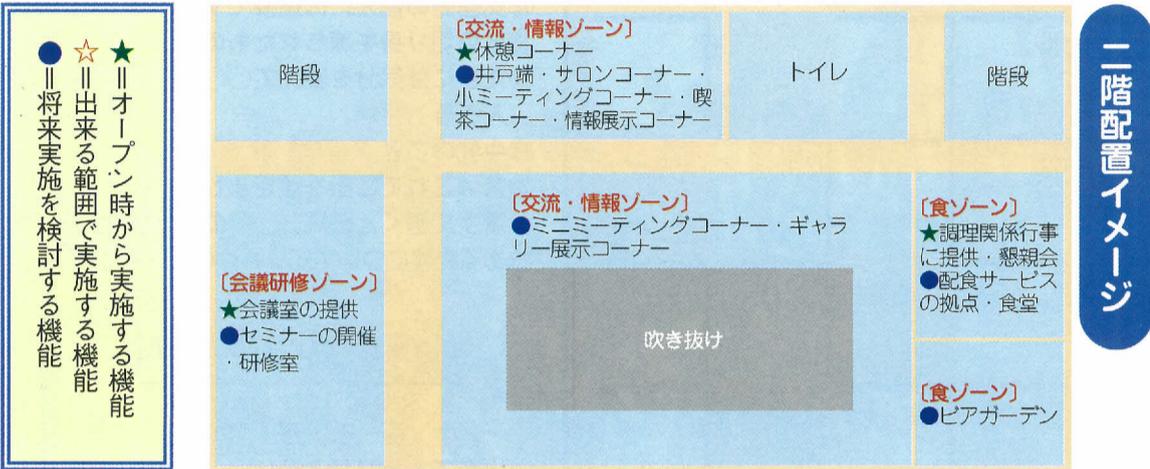
まつど市民活動 サポートセンター

利用・申込方法

利用日時…原則として月曜日～金曜日（祝・休日を除く）午前9時～午後5時
 予約が必要になる会議室、多目的ホール、調理室等の申込方法…予約開始1月14日(火)から 予約受付時間午前10時～午後4時 予約対象期間1月20日～3月末（無料期間） 予約方法①予約専用電話☎365-5588へ②予約後、一週間以内（利用日が一週間以内の場合は、利用日の前日まで）に直接、ファクスまたはEメールで申請書を提出してください。
 ※予約は、一通話一予約で先着順になります。
 ※詳細は広報まつど1月25日号でお知らせします。
 圏地域振興課ボランティア担当室☎366-3015



一階配置イメージ



二階配置イメージ

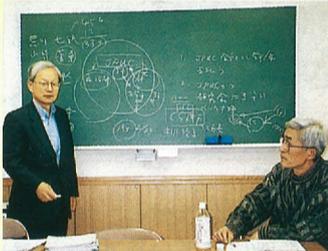
★ 〓 オープン時から実施する機能
 ☆ 〓 出来る範囲で実施する機能
 ● 〓 将来実施を検討する機能

ご存じですか？市民活動

私たちの身近な問題を、自分たちの手で解決していこうという市民活動。保健福祉・社会教育の推進、まちづくりの推進、文化・芸術またはスポーツの振興等、現在、市内には多数の市民活動団体があります。一例として、パートナーシップ検討委員会の委員の皆さんが参加している市民活動を紹介します。

中高年の能力を再活用

NPO法人 人材パワーアップセンター



「やる気のある会員ばかりです」と話す代表の岩橋秀高さん（写真左）

中高年の「何かやりたいという気持ち」を地域の活性化に役立てようと、設立された人材パワーアップセンター。

現在進めている活動内容は、市民生活活性化研究会等の専門部会で、市民活動や事業を支援したい会員、または始めたい会員が目的別にグループになり、みんなで支援や活動の方法を研究し、支援や活動または事業をスタートさせようというもの。今後の成果が注目されます。

配食サービス

NPO法人 宅配給食すずな

宅配給食すずなは、自分で食事を作ることが困難な人に、近隣の農家の野菜や米、安心できる食材を使った手作りの弁当を利用者の皆さんに配達しています。

スタッフは配達地区内に住むさまざまな年代で構成し、配達時には利用者の状況に配慮しつつ会話も楽しんでいます。

自分たちが年老いても安心して暮らせる地域作りを目指し、人と人との出会い、触れ合いを大切にしたいと語っています。



高齢者に配慮した弁当です

心のボランティア

松戸ゆうかり

精神障害者の社会復帰および社会参加のための援助活動をしようとして設立された松戸ゆうかり。

現在、会員は30人と少ないですが、統合失調症（精神障害）で、日々の生活をうまく送れずに悩んでいる人（うつ病を含む）やその家族に対して、少しでも心のサポートをと松戸保健所のデイケア、また市内の小規模作業所や「こころの相談室」等でボランティアとして協力しています。



「心のつどい」でボランティア活動をする会員の皆さん

資源循環型社会の構築

せっけんの街松戸



第二いぶきの広場でせっけん作りをする会員の皆さん

せっけんの街松戸は、自らの手で、ふるさとの環境を再生させようとする市民が集まり設立しました。

現在の活動は、定期的に各家庭から廃食油を回収し、環境にやさしいせっけんを作り、そのせっけんを使用する暮らしを広める活動をしています。

総合学習の一環として学校等で環境学習を行ったり、また生涯学習として地域で資源再生の講習も行っています。

在宅生活者の支援

NPO法人 生活支援センターあらかると



住み慣れた街で暮らし続けるために

スタッフそれぞれが自分たちの老後を見すえつつ高齢者介護の事業に取り組んでいるあらかるとでは、介護保険法にもとづいたヘルパーによる訪問介護サービスや、手作り弁当の会食会、また専属ケアマネージャーによるトータルな居宅介護サービスを行っています。

将来的には、地域で障害者支援や生活環境など、あらゆる問題を含めた立体的な街づくりを行いたいとのこと。

子どもの社会参画

NPO法人 松戸子ども劇場

子どもの社会参画の機会になればと、子どもたちの発達に必要な「地域での多様な人とのふれあい体験」「体や五感を使った体験」などの活動を行っています。

また、身近な地域でコンサートや演劇を鑑賞したり、幼児期から生の文化芸術に親しむ環境づくりにも心がけています。

0～3歳の子どものと親のサークルから、10代の若者のボランティア体験事業など幅広く活動しています。

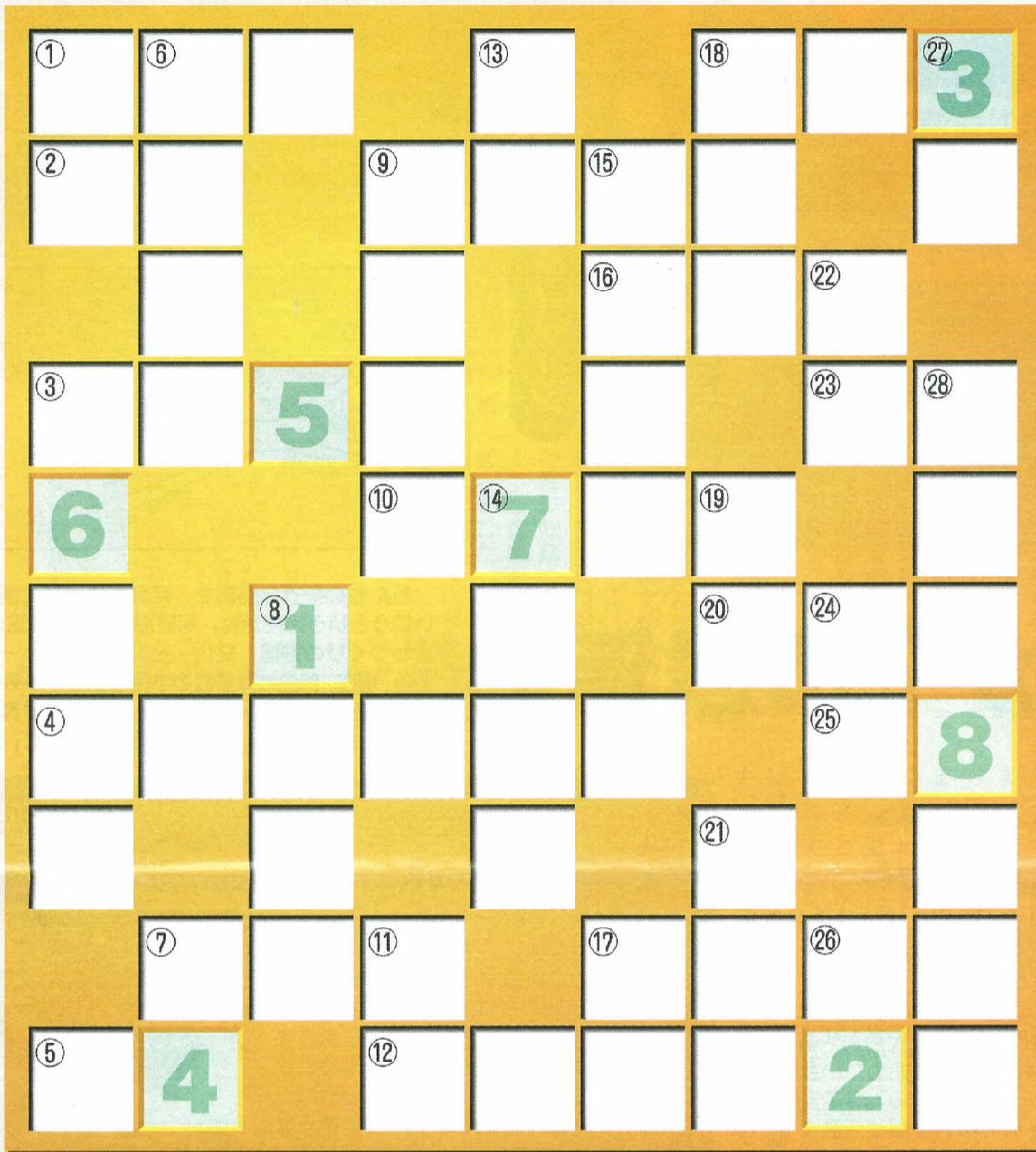


親子で楽しんでいます

クロスワードパズル

◎ 目玉のカギ ◎

下のクロスワードを完成させ、1 ~ 8 に入る文字を順に並べて、8文字の言葉を作成してください。正解者の中から抽選で下記希望賞品をお贈りします。



- ①お正月にはつきものです
- ②履き物
- ③神社、仏閣を詣でること
- ④日光東照宮の代表的な建造物
- ⑤去年はウマ、今年はヒツジ
- ⑦溪流に棲んでいます
- ⑨中華料理によく使われます
- ⑩お正月には江戸川でよく見かけます
- ⑫災害時の備えには重要です
- ⑬鮭の切り身を凍らせたもの
- ⑰たまには気分を変えて〇〇〇〇にでも入ろう
- ⑱牛乳のこと
- ⑳昔はこれでご飯を炊きました
- ㉓漢字で書くと驢馬。〇〇のパン屋さん
- ㉔ある物事について知り尽くしていること

◎ 夕方のカギ ◎

- ①一・十・百・千・万・〇・兆
- ③小粒でもピリリと辛い
- ⑥この日は豆まきをします
- ⑦針と〇〇
- ⑧年の暮れに掛け替えます
- ⑨お正月にする遊びの道具
- ⑪松戸の名産物
- ⑬〇〇は千年、亀は万年
- ⑭松戸でも夕方になると飛んでいる姿を目にします
- ⑮学校の花壇によく植える赤い花
- ⑰ダシを取る時は、ていねいにすくいます
- ⑱夜がまだすっかり明けきらない時
- ⑲内科、〇〇、小児科
- ㉑深川丼の食材です
- ㉒舌のこと
- ㉔アカ〇〇、クロ〇〇、五葉〇〇
- ㉖刺されると大変です
- ㉗秋の味覚。ウニではありません
- ㉘利根川は、こうも呼ばれています

東葛新春特別番組

いきいき市長 さわやか街づくり

年の初めにあたり、東葛地域の市長（松戸市・柏市・流山市・鎌ヶ谷市）が、新しい街づくりについて語ります。

◆1月2日(木)午前10時～10時58分 ◆千葉テレビ(UHF46チャンネル)

プレゼント

A賞 国際音楽祭
2月2日(日)午後2時開演
会場森のホール21小ホール
内容ハープの
吉野直子を音楽監督に、フルートの佐久間由美子ほか出演の室内楽(五組十人)

B賞 能楽鑑賞会
2月22日(土)午後2時開演
会場森のホール21
大ホール 内容能「高砂」狂言「佐渡狐」能「熊野(ゆや)」(五組十人)

C賞 戸定グッズ
戸定歴史館オリジナルハンカチ、戸定邸ポストカード(二十人)

D賞 博物館グッズ
虚無僧携帯用ストラップ、ジョウちゃん・モンちゃんメモ帳、常設展招待券(五人)



急病救急医療システム

◆テレホン案内サービス ☎366・0010
〔当日の医療機関(待機病院)休日在宅当直医、夜間急病診療所、休日土曜日夜間歯科診療所等〕を案内しています。

平日 午後4時30分～翌日午前9時
休日と土曜 午前9時～翌日午前9時

◆夜間急病診療所 ☎368・3756
衛生会館内 毎日午後8時～11時
◆休日土曜日夜間歯科診療所 ☎365・3430
衛生会館内 午後8時～11時

※医療機関マップは市のホームページ(URLは一面の右上参照)にも掲載しています。

健康保険証をお忘れなく



応募方法

あて先 官製ハガキで、〒271-8588松戸市役所広報課クイズ係へ
締め切り 1月14日(火) [消印有効]

※なお、当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。クイズの解答は2月5日号の広報まつどでお知らせします。

ハガキ(うら)

- ①クイズの答え
- ②希望賞品(1つのみ)
- ③住所
- ④氏名
- ⑤年齢
- ⑥職業
- ⑦広報まつどに関するご意見など

※指定の場所(引換券に記載)での受け取りになります。
※A～E賞にもれた正解者の中から、抽選で三十人に記念品をお送りします。

E賞 焼酎「戸定邸」(引換券)
戸定邸オリジナル焼酎(五人)

元祖松戸七福神鍋から一年の元気を

おせち料理に飽きたら「元祖松戸七福神鍋」をご家庭でいかがでしょうか。新年を迎え、市民の皆さんに元気を取り戻していただくために「地場の野菜を使った大衆的な価格のヘルシー鍋」をモットーに、市内飲食店がそれぞれのアイデアを凝らした「元祖七福神鍋」「七福神うどん・そば」を商品化し、提供しています。鍋やうどんを食べられる飲食店は、オレンジとグリーンの「のぼり旗」を掲げています。 圏商工観光課 ☎366-7327

